

大分県外国人総合相談センター おおいた国際交流プラザ



就任のご挨拶



プラザ次長・センター長
飯田 聡一

今年4月に、おおいた国際交流プラザ次長・大分県外国人総合相談センター長を拝命しました飯田です。よろしくお願いいたします。

経済のグローバル化が進む中、技能実習生の受入れなどにより、大分県においても在住外国人数は年々増加する傾向にあります。新型コロナウイルス感染症が収束すれば、この傾向はさらに強まるものと思われま

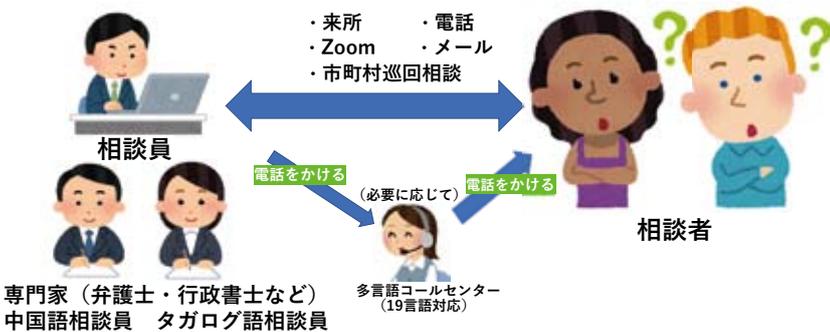
す。外国籍の方、外国にルーツを持つ方も含め外国人住民等の皆さんが安心し

て大分県で暮らし、働き、学ぶことができる環境づくりが求められています。

当プラザでは、令和元年に外国人相談窓口の開設を機に、日本語指導者の育成や災害時の支援・対応など、コミュニケーション支援・生活支援の充実に取り組んでいます。

行政や様々な団体等と連携・協働しながら多文化共生の推進に努めて参ります。当プラザの積極のご活用をお願いします。

相談センター利用イメージ



令和元年6月に開設された「大分県外国人総合相談センター」も3周年を迎えました。

引き続き、外国人住民等の皆さんや関係者が気軽に活用できるように運営して参ります。どうぞよろしくお願いいたします。

利用方法については、HP・SNS等をご覧ください。



information

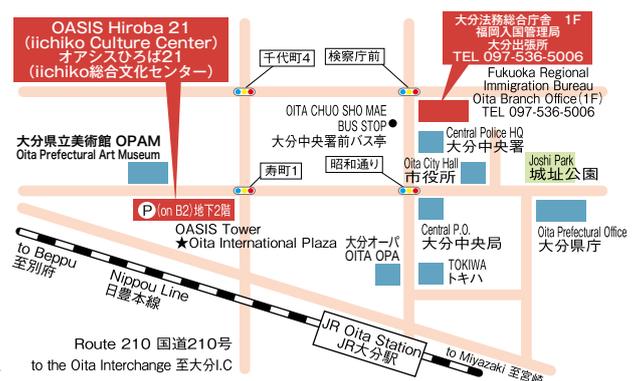
〒870-0029 大分市高砂町2-33 iichiko総合文化センター 地下1階
TEL 097-529-7119 (相談センター)
TEL 097-533-4021 (国際交流プラザ)
FAX 097-533-4052 (相談センター・国際交流プラザ)
URL: <http://www.oitaplaza.jp/> (相談センター・国際交流プラザ)
E-mail: oisc@emo.or.jp (相談センター)
E-mail: in@emo.or.jp (国際交流プラザ)

時間 月～土 (相談センター・国際交流プラザ)

10:00～17:00 (相談センター)

9:30～18:00 (国際交流プラザ)

※日曜、祝日、iichiko総合文化センター休館日および年末年始はお休みです



「令和4年度災害時外国人支援セミナー」開催



今年で3回目となる「令和4年度 災害時外国人支援セミナー」を6月10日、iichiko総合文化センター 県民ギャラリーで開催しました。当日のセミナーは行政職員（県市町村国際交流担当者、県市町村防災担当者）を対象にしたもので、セミナーの前半では、まず県防災対策企画課 阿部主査から「大分県の災害対応体制」、県国際政策課 清田主査から「災害時の外国人支援」について説明がありました。

続いて、立命館アジア太平洋大学（APU）言語教育センター長 本田明子教授より「災害時の外国人住民支援」をテーマに講義をしていただきました。同教授に同行して参加したAPU学生のエリオットさんからは、災害時に与えられる情報は簡易な（やさしい）日本語でないと、外国人には分かりにくいのではとの意見を聞くことができました。

次に佐伯市あまべ商工会 外国人技能実習支援課 谷口里美さんから、佐伯市の関係機関と協力して実施した外国人技能実習生を対象とした防災講習会や、実習生など外国人住民が災害や事故にあった時に役に立つように名前・住所などを記入できるカードと避難所の位置図が入った「ぼうさいおまもり(防災御守り)」を配布する取り組みについて説明がありました。

セミナーの後半では、別府市文化国際課 大塚大輔さんから2016年熊本地震の時の経験談と別府市の取組について、最後に災害時外国人支援情報コーディネーターでもある、当プラザの橋本参事が（一財）自治体国際化協会（クレア）HPに掲載してある災害時の多言語支援に役に立つ情報を説明しました。

令和4年度

日本語教室・日本語ボランティア研修（豊肥地域）



本研修は、令和2年度から日本語教室の学習支援者養成講座として実施しているもので、県内を6ブロックに分け、これまでに県北、中部、県南、西部地域で実施しました。今回の豊肥地域では5月15日、22日、29日に「グランツたけた」で開催しました。大分県日本語教育総括コーディネーターである立命館アジア太平洋大学（APU）言語教育センター長の本田 明子教授が講師を務め、延べ64人が参加しました。

講座のはじめに大分県国際政策課の三股課長が、日本語教室が外国人と地域住民との交流の場となり、すべての県民にとって住みやすい大分県づくりにつながるとい趣旨の挨拶を行いました。

講座の内容は以下のとおりです。

- 【第1回】 多文化社会の現状と日本語ボランティアの役割、国語教育と日本語教育
- 【第2回】 日本語教育の基礎（外国語としての日本語の特徴、「外国語」の教え方）
- 【第3回】 日本語を教えてみよう（授業の組み立て方と教案の作成、授業活動実践）

1回目は講師が全体説明を行い、2回目・3回目で上記のテーマに沿って参加者によるグループワークを行いました。

受講者からは、「日本語教育の概要と意義がわかった。」「在住外国人と地域住民との橋渡しの役割を理解した。」などの感想がありました。

相談事例

① センター相談

Q 外国人です。入国者健康居所確認アプリ (MySOS) の使い方が分かりません。どこに問い合わせればいいですか？



A 入国者健康居所確認アプリ (MySOS) の使い方や困った時は入国者健康確認センターにお問い合わせください。
URL : <https://www.hco.mhlw.go.jp/>
メールアドレス : followup@hco.mhlw.go.jp
電話 : 03-6757-1038 (自動音声)
営業時間 : 毎日9:00~18:00
(祝日・年末年始含む)

② センター相談

Q 外国人です。パートナーから人権にかかわる差別を受けました。どこに相談すればいいですか？

A 法務省の「外国語人権相談ダイヤル」があります。日本語を自由に話すことができない方からの人権相談に応じる専用の相談電話です。対応言語は10言語 (英語・中国語・韓国語・ネパール語・スペイン語・フィリピン語・ポルトガル語・ベトナム語・インドネシア語・タイ語) です。
電話 : 0570-090911
平日9:00~17:00 (年末年始を除く)

③ センター相談

Q 技能実習生です。監理団体から不当な扱いを受けました。相談できるところを教えてください。

A 外国人技能実習機構に母国語相談センターがあります。8言語 (ベトナム語、中国語、インドネシア語、フィリピン語、英語、タイ語、カンボジア語、ミャンマー語) に対応。言語によって対応日時と電話番号が違うのでご注意ください。
URL : <https://www.otit.go.jp/files/user/210331-1.pdf>

④ センター相談

Q 外国人です。食料支援を受けるには、どこに相談すればいいですか？

A 「フードバンクおおいた」という食料支援団体があります。お住まいの市町村の社会福祉協議会に相談して下さい。
URL : <https://fboita.oitakensyakyu.jp/>



専門家相談 中国語相談 タガログ語相談

※相談員の都合でお休みになることがあります。 ※詳細はHPでご確認ください。

▶ 専門家相談

■日時 毎週土曜日 13:00~16:00 ■場所 おおいた国際交流プラザ iichiko総合文化センター 地下1階
■相談員 外国人Life Support所属行政書士ほか ■費用 無料 ■申込 不要

事前の予約は必要ありませんが、専門家により専門分野が異なることや通訳が必要な場合がありますので相談内容を予めセンターにお知らせください。

▶ 中国語相談

■日時 毎週木曜日 10:00~13:00 ■場所 おおいた国際交流プラザ iichiko総合文化センター 地下1階
■相談員 おおいた国際交流プラザ 中国語相談員 ■費用 無料 ■申込 不要

▶ タガログ語相談

■日時 毎月第1土曜日、第3火曜日 13:00~16:00 ■場所 おおいた国際交流プラザ iichiko総合文化センター 地下1階
■相談員 大分県フィリピン友好協会所属相談員 ■費用 無料 ■申込 不要

缓缓中的日子

到今年6月份，我在大分居住了整整二十四年了，早已进入知天命的半百年龄，人生入白秋了。

近三年的疫情，在焦虑等待中生活多少慢下来很多，从被迫到接受，从害怕到遵循，日子也在和缓中前行。这几年几乎不在外面吃饭（因为自身工作在商场，人流状况复杂，也因为丈夫在设施工作，要尽可能保持相对安全的环境），这样也成全了自己在商场上班锻炼身体一样下班顺便选购食物，再精心搭配做出的食物既可以满足口胃也调节了心境，也做到了些节约，心里对自然之物充满了感激！

几年前从做大分中文学园的志愿者开始，和孩子们一起学中文学中国文化，在疫情中转到线上，即便人数不多但一起学着，我们也掌握了些利用网络来学习的能力，虽不及线下学习却自有剪不断的纽带相连。而且围绕着网络，我也参与进对中国残留孤儿高龄者住在养老设施里的网络聊天支援，用汉语和老人交流着他们曾经生活过的中国，也用网络和他们分享着现在的中日和近身还能记着的人事，我也提前看到了自己将来大同小异的年老体衰的状态，能警醒自己，不论日子快慢压力焦虑大小，一直在流动地生活着就是最好的状态。

就像随着对病毒的认知不断调整着疫情生活状态一样，不停息地和能接触到的外界去交流与学习，整个人的衰老会变得非常缓慢让人自然接受，我觉着“此心安处”才是一个真正良好的生活状态。



陈 瑛

我叫陈瑛，来自中国黑龙江省。
四口之家。
喜欢做家常料理，汉语诗朗诵，听音乐。

汉语咨询

欢迎您来大分国际交流广场

您想了解如何来排解来在日生活中发生的各种困扰吗？您想咨询大分县人土风情文化和独特的美食吗？那就来大分国际交流广场吧！这里有可以用母语交流的工作人员等候您的来访。愿为您的生活排忧解难，愿为您提供多文化共生环境的国际交流，愿为您的生活增添一份愉悦和欣喜。

时间：每周四10:00---13:00

场所：大分国际交流广场

iichiko综合文化中心 地下一层

费用：免费

TEL:097-533-4021

网上咨询：oisc@emo.or.jp

自由参加





Usa Jingu: An Unseen Utopia

Usa Jingu, nestled at the base of the Kunisaki Peninsula, is one of the many wonders of Oita Prefecture. As the head shrine dedicated to Hachiman, the god of archery and war in the Shinto religion, Usa Jingu boasts a rich history dating back to the 8th century, and still stands vibrant and proud against the flat plains of rural Usa. One can only imagine the emotions of those ancient pilgrims, who came from all across the country to worship: the warm sunset orange of the shrine's exterior must have sparked both excitement and passion in their hearts as they progressed up towards the main shrine. The entrance to this area itself is under construction, however this in no way takes away from the wonders lying inside.

The inner sanctum of the shrine is, for those lucky enough to gain access, just as striking as the exterior, showcasing the unique architectural style 'Hachiman-zukuri', with two sets of wave-like rooves sculpted so as to be adjacent to one another, forming one large main hall further connected by a dainty walkway shielded from the eyes of worshippers. All components in this inner oasis, disturbed only every so often by the rustling of priests on their daily rota of tasks, mesh together, creating a balance of otherworldly tranquillity on the one hand, and remarkably routine movement on the other.



Though an important and high-ranking shrine in the Shinto religion,

Usa Jingu offers a moment of quiet and peace to those who visit. There is something so spiritual and calming about shrines that renders them the ideal place to reconnect with yourself and mother earth. This author recommends Usa Jingu to anyone wishing to lose themselves in long twisting routes and in the soft clinking of talismans in the breeze; it is simply the perfect place to be mindful and to feel gratitude for all the good things life brings us.



Festivals and Events

県内イベント案内 ※掲載のイベントは、予告なく中止・変更になる場合があります。



国立国際美術館コレクション

現代アート100年

ハロー、アート!世界に夢になる方法

開催期間/6月11日(土)~8月21日(日)
会場/大分県立美術館 1階 展示室A
観覧料/一般1,200(1,000)円
大学・高校生1,000(800)円
※中学生以下は無料
※()内は有料入場20名以上の団体料金
※障がい者手帳等をご提示の方とその付添者(1名)は無料

2022コレクション展Ⅱ

冒険する美術一色・形・素材への挑戦一

開催期間/7月15日(金)~9月12日(月)
※休展日 8月10日(水)
会場/大分県立美術館 3階 コレクション展示室
観覧料/一般300(250)円
大学・高校生200(150)円
※中学生以下は無料
※()内は有料入場20名以上の団体料金
※高校生は土曜日に観覧する場合は無料
※障がい者手帳等をご提示の方とその付添者(1名)は無料

竹工芸特集展示
此君礼賛—おおいた竹ものがたり vol.4

2022コレクション展Ⅲ

生命の輝きを求めて

開催期間/9月16日(金)~11月13日(日)
※休展日 10月12日(水)
会場/大分県立美術館 3階 コレクション展示室
観覧料/一般300(250)円
大学・高校生200(150)円
※中学生以下は無料
※()内は有料入場20名以上の団体料金
※障がい者手帳等をご提示の方とその付添者(1名)は無料

竹工芸特集展示
此君礼賛—おおいた竹ものがたり vol.5

iichiko グランシアタ・ジュニアオーケストラ フェスティバル 2022 ジョイントコンサート

日 時/7月31日(日)
開 演/13:00
会 場/iichikoグランシアタ
料 金/(全席指定)無料・要チケット
曲 目/パッヘルベル カノン
オッフェンバック 喜歌劇『天国と地獄』序曲 抜粋版 ほか

レクチャー付きオーケストラコンサート 九州交響楽団

日 時/8月19日(金)
開 演/19:00
会 場/iichikoグランシアタ
料 金/(全席指定)
S席:3,000円、A席:2,000円
U25割:各席半額
指 揮/森口真司
管 弦 楽/九州交響楽団
曲 目/ドヴォルザーク 交響曲第9番『新世界より』

日生劇場ファミリーフェスティバル 2022 NHKみんなのうたミュージカル リトル・ゾンビガール

日 時/9月17日(土)
開 演/14:00
会 場/iichikoグランシアタ
料 金/(全席指定)
S席:4,000円、A席:3,000円
B席:2,000円、U25割:各席半額
膝上鑑賞:無料(3~5歳のみ、保護者1名につき1名まで)
出 演/高橋ひかる(ノノ役)、石井杏奈(ショウ役)、エハラマサヒロ(クルス役)、石田佳名子(ハル役)、コング桑田(親分役)、大和悠河(リリ役) ほか



大分県芸術文化友の会
OITA PREF ARTS & CULTURE MEMBERSHIP
メンバー募集!



iichiko
総合文化センター



OpAM
大分県立美術館



JICAデスク 大分からこんにちは!

2022年度も新学期に入り、JICA国際協力出前講座への申込や申込に関するご相談が増えてきました。例年、春になると少しずつお問い合わせが増えてきます。

JICAでは開発教育支援事業の一環として、「国際協力出前講座」を通年にわたり実施しています。対象は主に学校等教育機関や市民団体、地方自治体などで、ご依頼に応じて、JICA海外協力隊の経験者やJICAデスク大分の国際協力推進員、JICA職員などを講師として派遣します。世界の開発途上国で実際に活動してきた経験談等を通じて、世界の現状や課題について知り、国際協力について一緒に考えてみませんか?

近年のご依頼の傾向としては、学校の教育現場から「SDGsについて知りたい」という内容が圧倒的に多く、社会の中での機運の高まりを現場からひしひしと感じているところです。現在は小学校から高校までの社会科や英語科を中心に教科書の中で「持続可能な社会」に関する学習があり、その延長線上

での取組として、「総合的な学習(探求)の時間」の枠組みの中で当出前講座の実施依頼を受けることが多くなっています。

ぜひお気軽にJICAの開発教育支援事業(国際協力出前講座)をご活用ください!詳しくはJICA九州のHP、またはJICAデスク大分までお気軽にお尋ねくださいませ。



JICA九州・HP



JICAデスク 大分

iichiko総合文化センター(B1F) おおいた国際交流プラザ内
担当: JICA九州・大分県国際協力推進員 井本
TEL: 097-533-4021 (おおいた国際交流プラザ直通)
E-Mail: jicadpd-desk-oitaken@jica.go.jp

プラザより



国際理解講座 チャド編



3月5日、アフリカ大陸中央部に位置するチャド共和国の文化、歴史、地理、経済から民族、食、教育制度に至るまで様々なトピックを講師のウマル ナホル ヌガワラさん（JICA長期研修員 立命館アジア太平洋大学研究科）にお話していただきました。

チャドの民族衣装を着て登場した講師は、英日同時通訳を使って写真や映像を挟みながら広大な大地、そこに生きるチャド人の日常を紹介し、参加者にチャドの新たな1ページを印象付けました。

主催：おおいた国際交流プラザ 共催：JICAデスク大分（JICA九州）

国際理解講座 ベトナム料理編

3月20日、ブイ ホン ロアンさん、グエン ティ タン スアンさん（両氏共におおいた国際交流プラザ通訳・翻訳ボランティア）を講師に迎え、参加者とベトナムの代表的な料理バインセオ（ベトナム風お好み焼き）とチャー（デザート）を作りました。

材料は可能な限りMade inベトナムを用意し、講師が調理台を回りながら料理の説明やベトナムの食文化、講師の出身地についてフレンドリーに話す姿が印象的でした。

沢山の方にご参加いただき、和気あいあいと楽しい講座になりました。



国際理解講座 インド・スリランカ編



6月4日、講師に立命館アジア太平洋大学留学生のガウリ ヘムシクハさん（インド）、ラヌル コツウェゴダさん（スリランカ）を迎え、地理的に近い両国の類似点と相違点をテーマ（食、言語、祭り、衣服、人気の業界、スポーツ）に沿ってお話していただきました。

併せて、両国の現状や問題点（人口増加や環境問題について）、ヘムシクハさんのダンスなど、参加者は異国を感じる時間を共有し、両国共に日本との外交関係樹立70周年の節目の年に相応しい講座になりました。

語学講座紹介

4月から語学講座（アラビア語・インドネシア語・ベトナム語）が始まりました！講師は言語に精通したおおいた国際交流プラザの登録ボランティアです。「基礎から学びたい」「旅行に行った時に使ってみたい」「新しい趣味としてチャレンジしたい」など、興味のある方はプラザHPで詳細をご確認のうえ、ぜひご参加ください！



ホームページ
語学講座

おおいた国際交流プラザからのお知らせ

●Free Talk Class

県国際交流員（CIR）が出身国の文化や日常生活について参加者に母国語で紹介し、楽しみながら言語に触れることを目的としています。

イギリス、アメリカ、韓国出身のネイティブと交流してみませんか。（各週で1言語）

日時 金曜日 13:30～15:00

定員 10名

●各種講座

▶チャレンジ☆韓国語

韓国語を使いたいけれど機会がない…と感じている方。覚えた単語や文章を韓国語ネイティブとの会話の中で使ってみませんか。

日時 土曜日 10:30～12:00

定員 10名

▶語学講座

新しい言語を習得したい方。学びながらその国の魅力に触れてみませんか。興味のある方はぜひご参加ください。

対象言語：インドネシア語、ベトナム語、アラビア語

定員 各10名

●通訳・翻訳ボランティア

おおいた国際交流プラザには、英語・中国語・韓国語・フランス語・ドイツ語・イタリア語・ロシア語・タガログ語・スペイン語・ポルトガル語・ベトナム語・インドネシア語・アラビア語・ヒンドゥー語・ウルドゥー語 の通訳・翻訳ボランティアが登録しています。

語学力を活かして、在住外国人のサポートをしたいという方のご登録を随時募集しています！

●日本語ボランティア

日本語ボランティアは、日本語を母語としない方に日本語を教えるボランティアです。

登録希望者は、おおいた国際交流プラザのHPから登録用紙をダウンロードしご記入のうえ、FAX、E-mail、または直接提出してください。

●医療ハンドブック

大分県内に在住する外国人のための医療ハンドブックをおおいた国際交流プラザのホームページでご覧いただけます(5か国語)

ハンドブックでは、日本の医療制度、病院のかかり方、妊娠・出産の時の対応、事故や感染症など、日本での生活で知っておきたい情報を紹介しています。

●日本語教室情報

▶あいうえおCLUB

①場 所 アイネス（大分市）

日 時 毎週火・金 10:20～11:50

連絡先 090-8353-2485 宮瀬

②場 所 コンパルホール（大分市）

日 時 毎週木 18:30～20:30

連絡先 097-532-5940 加藤

▶さくら日本語教室

場 所 大分大学国際交流会館（大分市）

日 時 毎週月 10:15～12:00

連絡先 097-528-1865 川野

▶ひまわり

①場 所 明治明野公民館（大分市）

日 時 毎週水 14:00～15:30

②場 所 鶴崎公民館（大分市）

日 時 毎週土 10:00～11:30

③場 所 コンパルホール（大分市） ※こども日本語教室

日 時 毎週土 14:00～15:40

連絡先 097-527-2614 深田

▶日本語らくらくトーク

場 所 別府市役所

日 時 毎週月 14:00～15:30

連絡先 0977-21-1131 大塚

▶BIP Japanese Conversation Class

場 所 APU PLAZA OITA (AP House 4) 1階

日 時 毎週火 10:10～11:00（初級）

11:10～12:00（中級）

毎週水 11:10～12:00（初級）

12:10～13:00（中級）

毎週木 12:00～12:50（入門）

連絡先 0977-23-1119 神（こう）

